

令和2年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		16-	3	
事業名	ALT派遣事業		会計	款	項	目
			一般	10	1	2
施策	3	心豊かなまち	課名	学校教育課		
	3-1	生涯学びのあるまちをつくる	係名			
	3-1-1	幼児教育・学校教育の充実				
主要施策	②学校教育内容の充実					

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	目的 (対象がどのような状態になっているか)	・英語を使って、積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲をもてるようにする。 ・外国語に関する指導力が向上する。
事業内容	①【外国語指導助手派遣事業】園では5歳児を中心に学期に1回程度訪問し、英語に親しむ活動を行う。 小学校では、5、6年生の外国語、または3、4年生の外国語活動を対象に平均1クラス週1時間の授業を英語教育推進教員と綿密な打ち合わせをしながらH32全面実施の学習指導要領に則った授業を行う。中学校では、英語科の指導助手として、全ての学年を対象に平均1クラス週2時間の授業を行う。 ②【16年一貫教育プラン実践事業】ALTの協力を得ながら東員学び検定の英語版テキストを作成する。ALTが検定員となり小学校で行う英語検定の4技能のテストを行う予定。		

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

		指標名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	目標方向	令和2年度 (目標)
指標	1	中学校英語時間数 (週/クラス)	2	2	2	時間		2
	2	小学校外国語活動 (学期/クラス)	1	1	1	時間		1
	3	小学校外国語活動5、6年 (週/クラス)	2	2	2	時間		2
	4							
	5							
			令和元年度 (決算)		令和2年度 (決算)		令和3年度 (予算)	
全体事業費 (千円) A+B					1,421	892	515	
財源内訳	直接事業費 A				761	232	449	
	うち一般財源				761	232	449	
人件費 (千円) B					660	660	66	
内訳	一般職員 (人・千円)		0.10	660	0.10	660	0.01	66
	臨時職員 (人・千円)			0	0	0		0

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A 町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適正である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続 (事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R2年度の改善計画	特に今年度から本格実施となる小学校3、4年生の外国語活動、5、6年生の外国語 (英語) の授業において、言語活動の更なる充実を図るため、担当教員と連携しながら授業をサポートする。	③取組の課題	3名のALTを雇用しているが、各中学校で1名ずつ、小学校6校で1名であり、今年度から小学校の外国語 (5、6年) が教科化され、小学3、4年の外国語活動含め、ALTの需要が増している。
②R2年度に実施した取り組み	小中学校の外国語 (英語) の授業に加えて、幼稚園6園でも外国語に触れる活動をALTが行い、幼少期から小学校、中学校へと連続して、外国人との会話に触れる機会を設ける。	④今後の改善計画	前年度に引き続き、専科教員等とALTが連携しながら、積極的・効果的な活用を進める。